

すくすくみどり

No.8 庭木、草花とつきあう12ヶ月



(財) 札幌市公園緑化協会

はじめに

花や緑は私たちの目を楽しませ、心身をリラックスさせてくれます。私たちが住む街札幌は気候条件が本州と大きく異なるため、書店で売られている全国向けの園芸手引書では当てはまらないことも多くあります。

長く寒い冬、遅い春、梅雨のないさわやかな初夏、涼しい夏、短い秋など、園芸にとって不利とも有利ともいえる条件が、北国札幌での園芸の重要なポイントになっています。

この小冊子は北国札幌の条件下で育てる庭木、草花の生育管理を月毎にまとめて取り上げ、これから園芸を楽しめる方々に平易な手引書として活用していただくことを願って作成しました。

園芸を楽しめる方が、この小冊子を有効に活用していただき、花と緑あふれる家庭、いつでも、どこでも花と緑にふれあうことができる環境づくりの第一歩としていただければ幸いです。

なお、この小冊子の作成に当たりましては、皆様からいただいた募金（札幌市都市緑化基金）の果実（利子）の一部を使わせていただきました。

紙面で失礼ではありますが、ご協力いただいた皆様への感謝とともに、さらなる札幌市都市緑化基金積み立てへのご協力をお願い申し上げます。

この小冊子の内容をもっと詳しく知りたい、他の花や植物について知りたいという方は、巻末の「緑の相談」をご利用ください。専門の相談員があなたの質問にお答えします。

目次

4月の園芸作業	P2~3
5月の園芸作業	P4~5
6月の園芸作業	P6~7
7月の園芸作業	P8~9
8月の園芸作業	P10~11
9月の園芸作業	P12~13
10月の園芸作業	P14~15
11月の園芸作業、冬囲い	P16~17
12月、1月の園芸作業	P18~19
2月、3月の園芸作業	P20~21
木の植え方・育て方	P22~23
緑の相談	P24~25
札幌市都市緑化基金	P26~29

この小冊子の使い方

作業の内容に適する時期を表わしています。
（この場合は4月の上旬から中旬が「冬囲いの取り外し」の適期であることを示しています。

APRIL			4月		作業内容	
作業時間	上旬	中旬	下旬		庭木類	
					冬囲いの取り外し 桜の開花を待つための囲いはまだ必要ありません。凍結防止のための防寒対策は、まず一部を撤去し、通風をし、暖かくなつてから残りの日を選んで撤去しましょう。 雪害からの手入れ 桜のため、桜の開花を待つ間は、切り口に	

植物の生育サイクルについては、天候や管理の状態などによって多少前後することがありますので、あくまでもひとつの目安として管理に工夫してみてください。



フキノトウ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	〈庭木類〉 冬囲いの取り外し 枝折れを防ぐための囲いは土が乾き次第行いましょう。 凍結防止のためのコモ囲いは、まず一部を開いて通風をし、暖かくなってから曇天の日を選んで外すとよいでしょう。 雪害木の手入れ 折れたり、裂けたりした枝は切り取って、切り口に癒合剤を塗布しましょう。 雪圧で形のくずれた株物や生垣は、支柱を立てて姿を整えましょう。  レンギョウ 苗木の植え付け 入手後すぐに植えましょう。根が乾いている場合は一昼夜水に浸してから植えます。 植え付け後は支柱を立て、仮植するときは根を乾かさないように注意しましょう。 移植 芽出し前に行います。(カンバ類、ナナカマド、サクラ、コブシ、モクレン、カイドウ、ツツジ類、レンギョウ、ユキヤナギ、トドマツ、エゾマツ、ヒバ類、果樹類) ツツジ類ほかの春咲き花灌木は、それぞれの花後でもよいでしょう。ボタン、ボケ、ブドウは秋がよく、イチイ、マツ類、シャクナゲは5月下旬～6月が適期です。 根回し 翌年移植予定の木に行います。  エソムラサキツツジ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	施肥 生垣、刈り込み仕立ての木、花木類、果樹類に、油粕や骨粉ほか有機質主体の肥料を与えます。 剪定 バラは冬囲いを取り外してすぐに行います。弱い枝、内側に向かう枝は整理し、ほかの枝は2～3芽残して外芽の上で剪定します。 病害虫防除 主に果樹類の越冬病害虫に対し、石灰硫黄合剤を7～10倍に薄めて展着剤を加えた液を木全体に噴霧します。適期は芽が膨らみ始めた頃で、この頃には病害虫が活動を開始するので防除効果があります。芽が開き始めたら薬害が出るので散布してはいけません。 〈草花〉 育苗(種まき) 花壇用のマリーゴールド、ペチュニア、キバナコスモス、インパチェンス、コリウス、サルビアなどの種を播種床にまきます(3月中旬頃から)。発芽温度に注意しましょう。 育苗(移植) 発芽後、本葉が3～4枚になったらポリポットなどに移植します。徒長しないようによく日に当てて育てましょう。 芽出し ダリア、カンナなどの球根は分球し、暖かい室内で芽を出させます。(浴光催芽法) 株分け キキョウ、シャスターデージー、キク、アスチルベなどの宿根草類の株分けをします。 施肥 宿根草類や秋植え球根類に、有機質肥料または有機化成肥料を与えます。  クロッカス  フクジュソウ



ライラック

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈庭木類〉 種まき イチイ、サクラ、カエデ、ナナカマドほか乾かないように土中埋蔵などで保存しておいた種子のほか、マツ類、コブシ、イボタ、ツリバナなどが種まきの適期です。 成木の移植 落葉樹、果樹類は新葉が展開する前に移植します。イチイ、マツ類、シャクナゲは中旬からがよいでしょう。 根回し 翌年移植予定の木にしておく、移植後の活着がよいでしょう。 苗木の植え付け すべての樹種で可能です。 接ぎ木 果樹類、モクレン、ハナカイドウ、ライラックなど、接ぎ穂は2月末頃に採取し、保存しておいたものを使います。 整姿・剪定 エソムラサキツツジ、レンギョウは花後、ムクゲの摘心は間引き程度にします。 花がら摘み ツツジ類は花後すぐに行います。 ツツジの花がら摘み 施肥 ウメなどの花木、ツツジ類などの花灌木には、花後に化成肥料を与え、翌年の花芽形成を促進させます。 病害虫防除 バラや果樹類には、葉が開くと同時にアブラムシ類の寄生が多くなったり、モモやウメには縮葉病が発生しやすくなります。開葉後、果樹類では花が散り始めたら、殺虫剤と殺菌剤の混合液を散布して防除しましょう。 ソメイヨシノ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈草花〉 種まき アスター、ジニア、キンセンカ、コスモス、そのほかの一年草類や、宿根カスミソウ、セキチク、オダマキ、ノボリフジ、シャスターデージーなど宿根草類の種を花壇に直播きします。 植え付け ダリア、グラジオラス、カンナなどの春植え球根類や、パンジー、デージー、ペゴニア類、インパチェンス、シバザクラの苗を花壇やプランターに植え込みます。 パンジーの植え付け 花がら摘み スイセン、チューリップ、ヒヤシンス、クロッカスなどの秋植え球根類は、花後すぐに花首から摘み取ります。(P11のイラスト参照) 施肥 秋植え球根類には、化成肥料を与えて球根を肥大させます。 病害虫防除 アブラムシ、ヨトウムシ、灰色かび病、苗の立ち枯れ病などが発生しやすいので、薬剤防除します。ハナショウブなどのアヤメ類のズイムシを防除するための薬剤散布をします。 チューリップ&ムスカリ スズラン



フジ

作業時期 上旬 中旬 下旬	作業内容
	〈庭木類〉 移植・定植 イチイ、マツ類などの移植、定植が適期です。 整姿・剪定 コデマリ、ユキヤナギ、レンギョウ、ライラック、ツツジ類などは、花後すぐに行います。 イチイ、シンバク、サワラ、ツゲなど、生垣、玉仕立ての樹木の整姿は、随時行います。 さし木 イチイ、シンバク、エニシダ、アジサイ、ツツジ、サツキ、コデマリ、ユキヤナギ、レンギョウ、ライラック、シャクナゲなどの新梢さしを行います。 根回し 翌年移植予定の庭木類に行いますが、あまり遅くなると効果がありません。 花がら摘み ツツジ類、サツキ、シャクナゲ、ライラック、アジサイ、ボタンなど、種子のできる樹種は花後に子房の下から摘み取ります。 緑摘み・芽摘み アカマツ、クロマツ、ゴヨウマツなどは、新芽が手で折れるまでの間に行います。 シンバク、ヒバ、アカエゾマツなどは葉、新梢を摘んで樹形を整えます。 摘果・袋かけ 袋かけの前には病虫害防除をして、リンゴ、ナシ、モモなどに行います。 施肥 花木類には、花後すぐに化成肥料を与えるとよいでしょう。 病虫害防除 各種病虫害の発生が多くなるので、早めに殺虫・殺菌剤を散布しましょう。



イチイ



エゾヤマツツジ

作業時期 上旬 中旬 下旬	作業内容
	〈草花〉 種まき ハボタン、ビジョナデシコなどの種まきをします。 さし芽 シンバクラ、アキランサスなどはさし芽で増やします。 定植 マリーゴールド、ペチュニア、ベゴニア、インパチェンスなどの夏咲き草花類を定植します。    ペチュニア ベゴニア・センパフローレンス マリーゴールド 球根掘り上げ スイセン、チューリップ、クロッカス、ダッチアイリスなどの秋植え球根類は、葉が枯れてきたら掘り上げ、陰干しをして乾燥保存し、9～10月に植え付けます。(3～4年ごと)。 間引き 直播きしてある1・2年草が込み合っているものは間引きします。 春から植えて開花中のサルビア、ペチュニアなどは、花がらを摘みながら摘心し、追肥すると次々と開花します。 肥料  (実肥) リン酸分の多いものを与えます。 開花期の長いものに連続して施します。 成育中期以降に有効。 (葉肥) 窒素分の多いものを施します。 生育初～中期に有効。 (根肥) カリ分の多いものを施します。 成育中～後期に有効。



ラベンダー

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈庭木類〉 整姿 イチイ、マツ類などが適期です。 剪定 バラは、一番花が終わったら5枚葉を1枚つけて切り戻します。株元から出ているシュートは30～50cmくらいで摘心します。 施肥 花の咲き終わった花木類に化成肥料を与えます。バラは秋花を咲かせるため施肥します。ナシ、リンゴ、ブドウへ化成肥料の追肥を上旬頃に行います。 芽接ぎ サクラ、カエデ類の芽接ぎを行います。 摘果・袋かけ 袋かけの前には病虫害防除をして、リンゴ、ナシ、モモなどに行います。 病虫害防除 イチイ、マツ類、シャクナゲ、カエデ類などにはナガチャコガネムシ（ネキリムシ）成虫、カイガラムシ、ツツジ類のベニモンアオリンガ（ツボミムシ）の防除を行います。
	 サツキ  アジサイ

アジサイ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈草花〉 種まき ハボタン、ビジョナデンコは上旬、パンジーは下旬に行います。 植え付け マリーゴールド、サルビア、ケイトウ、コリウス、アキランサス（テランセラ）などを花壇に植え付けます。 移植・株分け ジャーマンアイリスの移植、株分けは、植え付け前に石灰を施しておきます。また、ハナショウブ、ヒメシャガなどアイリス類の移植、株分けの適期です。 さし芽 シバザクラ、アキランサスなどはさし芽で増やします。
	 インパチェンス 球根掘り上げ チューリップ、スイセン、クロッカス、ダッチアイリスなどの秋植え球根類は、葉が枯れてきたら掘り上げ、陰干しをして乾燥保存し、9～10月に植え付けます。（3～4年ごと）。 摘心 ダリア、キクなどが適期です。 開花中のサルビア、ペチュニアなどの花から摘み、摘心、追肥をします。
	 ユリ

ユリ



ヒマワリ

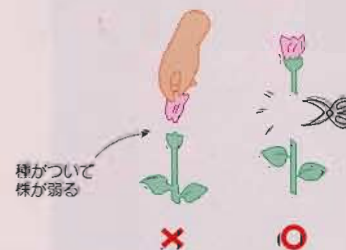
作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈庭木類〉 整姿・剪定 イチイ、マツ類、カエデ類などのほか、生垣の刈り込みを行います。リンゴ、ナシ、モモ、ウメ、プラムの徒長枝、ブドウの二番枝などを剪定します。また、フジの芯を止めてやります。 病虫害防除 ケムシ、アオムシ類、ツツジ類のベニモンアオリンガ（ツボミムシ）、うどんこ病、褐斑病などが発生するので、早めに殺虫剤、殺菌剤の散布をしましょう。イチイ、マツ類、シャクナゲなどのカイガラムシ防除は今月中に終わらせましょう。また、ナガチャコガネムシ（ネキリムシ）成虫の発生が多かったときは、下旬に幼虫の防除をしましょう。
	 リンゴ マルメロ ムクゲ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈草花〉 種まき パンジーは上旬までに行いましょう。 植え付け コルチカムの植え付けが適期です。 株分け シヤスターデージーほかの株分けが適期です。 開花中のサルビア、ペチュニアなどの花がら摘み、摘心、追肥をします。
	 グラジオス

■花の手入れ■

花がら摘み

次々と咲くものは、咲き終わった花がらをこまめに摘み取りましょう。取るのは花びらだけでなく、種がつく子房から取ります。



切り戻し

花がひととおり咲き、茎が伸びてきたら、一度切り戻して肥料や水やりを続けると側枝が伸び、再び花をたくさんつけます。思い切って早めに切ることも大切です。





作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈庭木類〉 植栽・移植 ハナズオウ、ハナカイドウ、ボケ、フジ、ボタンなどの植栽・移植の適期です。 剪定 イチイ、マツ類、カエデ類などの剪定を行います。 春から初夏に咲く花木の大半には、すでに来年の花芽が形成されているので、剪定はしないほうがよいでしょう。  イチイ 施肥 樹木はすでに冬に向けて充実期に入っており、花木類では来年の花芽が形成される時期なので肥料は与えません。特に耐寒性の弱い西洋シャクナゲ、ジンチョウゲ、ツツジ類、ボタン、ツバキなどには、上旬までにカリ肥料を単用で与えておくとうよいでしょう。 病害虫防除 カエデ類、ボタン、バラ、クレマチスなどに、うどんこ病が発生しやすくなります。また、カエデ類、ツツジ類にはイラガの寄生が目立つなど、各種病害虫が多発するので防除を徹底しましょう。  バラ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈草花〉 植え付け クロッカス、スイセン、ヒアシンス、アリウム、チューリップなどの秋植え球根類が適期です。 株分け・植え替え フクジュソウ、プリムラ・ポリアンサ、アルメリア、タチアオイ、ジギタリス、スズラン、ミヤコワスレ、オダマキ、リンドウ、シャスターデージーなどの春・夏咲きの宿根草類が適期ですが、シャクヤクは下旬頃からよいでしょう。  コスモス 育苗・（植え替え） パンジー、デージー、ビジョナデシコなど。 鉢上げ 花壇のインパチェンス、ペチュニア、ペゴニアなどを、鉢やプランターに植え替えておくとう冬季室内で花を楽しめます。また、アキランサスは鉢上げて冬は寒さから保護します。カンナも鉢上げて花を楽しみ、その後休眠させるとよいでしょう。  ダリア



作業時期
上旬 中旬 下旬

作業内容

〈庭木類〉

植栽・移植 落葉樹類ではカエデ類、ナナカマド、カンバ類、カイドウ類、サクラ、ライラック、ボケ、フジなど、果樹類ではリンゴ、ナシ、モモ、ウメ、オウトウ、ブドウなどが適期です。ただし、ボタンは上旬までにすませましょう。

今年（特に秋）植栽・移植した木は、土壌が掘り返されるため、冬季の土壌凍結が深くなり、根が凍上・乾燥して活着不良となることが少なくありません。この場合は株元、地表に落ち葉、わら、ビートモスなどを敷いて凍上を防ぎます。また、耐寒性の強い種類でも移植した年は、地上部をコモ囲いなどで木の乾燥を防ぐとよいでしょう。



リンゴ

整姿・剪定 ボタン、フジ、カイドウ類、ボケなどの花木の整姿・剪定を行います。



ナナカマド

作業時期
上旬 中旬 下旬

作業内容

〈草花〉

植え付け チューリップ、クロッカス、アリウム、ヒヤシンス、スイセン、ユリ類、球根アイリス、スノードロップ、シラーなどの秋植え球根類は下旬までに植え付けます。ハボタン、キクなどは上旬に秋花壇へ植え付けるとよいでしょう。

球根掘り上げ ダリア、カンナ、グラジオラスなどの球根類は、地上部が枯れてきたら掘り上げて貯蔵します。

株分け 宿根カスミソウ、宿根フロックス、ギボウシ、シャスターデージー、アスチルベ、キキョウなどの春・初夏咲きの宿根草類の株分けは上旬までに終わらせましょう。

鉢上げ 花壇のインパチェンス、ペチュニア、ペゴニアなどは、霜に当たらないうちに鉢やプランターに植え替えて、室内の明るいところに置いてやると、長く花を楽しむことができます。

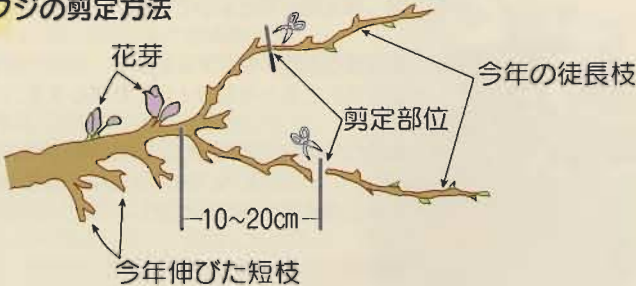


キク



ハボタン



作業時期 上旬 中旬 下旬	作業内容
	〈庭木類〉 整姿・剪定 フジ、ボタン、カイドウ類、ボケ、サクラ、カンバ類、ナナカマドなどの庭木類のほか、ブドウも適期です。 フジの剪定方法  冬囲い イチイ、マツ類など高木類は雪吊りをし、低木類や生垣などは中旬頃までに積雪による枝折れ防止の囲いをしましょう。寒さに弱いサツキ、ジンチョウゲ、西洋シャクナゲ、バラ、コノテガシワなどは気象の推移を見ながら秋の陽光と寒さに十分当ててからコモを巻いて防寒をします。  〈草花〉 植え付け チューリップ、球根アイリスの植え付けが遅れているときは上旬までには植え付けてやりましょう。

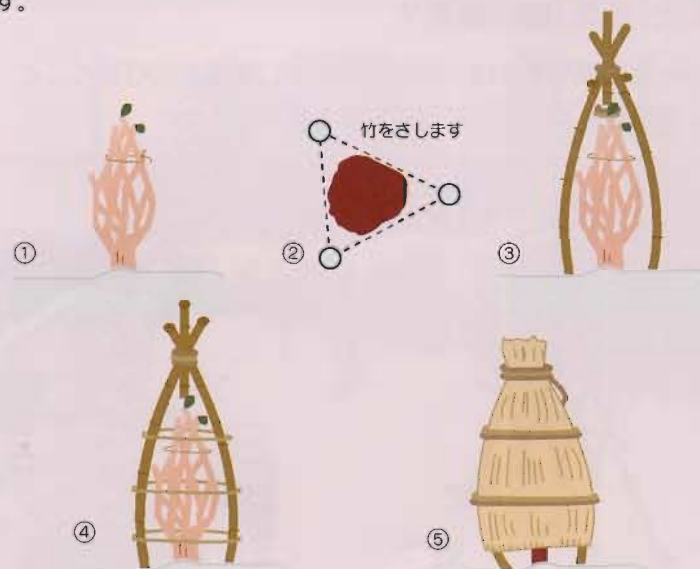
■冬囲い■

北海道では寒さで枝が枯れ込んだり、雪の重みで枝が折れたりしないように冬囲いをします。

● **材料**：根曲がり竹、さらし竹、丸太、板、縄、むしろ、わらなど

● 方法

- ① 植物全体の中程より上を縄で束ねます。
- ② 株の回りに根曲がり竹を3～5本、等間隔にさします。
- ③ 竹を植物の上10～20cmの所で右回りか左回りに揃えて縄で縛ります。
- ④ 竹囲いの外側を所々竹に一巻きしながら下から縄で巻き上げます。
- ⑤ 雪害をうけやすい場所にあるものはこの上からむしろを巻き、2～3段縄で縛ります。



冬囲いは、囲ってしまえば終わりではなく、積もった雪を下ろしたり、春の氷割など、取り外すまで面倒を見ましょう。

12月



作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈庭木類〉 整姿・剪定 フジ、ボケ、ブドウなど。 鼠害予防 林縁や沢地に隣接する庭では冬季間積雪下でエソヤチネズミによる樹皮の食害が発生します。このような庭では殺鼠剤や忌避剤を使用します。 これから戸外は積雪に覆われるので特に必要な作業はありませんが、軒下に植えられている庭木類や、道路際の生垣などは落雪、除雪による損傷が心配されるので、状況に応じて囲いの補強や除雪を行いましょう。樹冠や枝に積もった雪を落とすことも必要です。

1月



作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈庭木類〉 雪害からの保護 樹冠や枝に積もった雪は落として、枝折れを防ぎましょう。 軒下に植えられている庭木類や道路際の生垣などは、落雪、除雪のために損傷を受けることが多いので、状況に応じて囲いの補強や除雪をしましょう。

「整姿」と「剪定」違いは何？

整姿……一定の樹形を維持、保存するために枝葉を切り除くこと

剪定……樹形を作るために枝を切り除くこと





作業時期
上旬 中旬 下旬

作業内容

〈庭木類〉

整姿・剪定 ウメ、ナシ、モモ、サクランボ、カイドウ類などは花芽を残しながら剪定します。

サクラ、ナナカマド、カンバ類、コブシ、モクレンなどは必要に応じて整姿します。

すでに樹液の揚がっているカエデ類や、イチイ、マツ類などの常緑針葉樹の整姿・剪定はしてはいけません。

ウメの剪定



〈草花〉

貯蔵中の球根を点検しましょう。球根が乾き過ぎているときは保護材料も含めて霧吹きで水分の補給をします。腐敗しているものがあれば取り除き、湿り過ぎていたり、球根の表面にカビが生えている場合は陰干して、殺菌剤を噴霧した後に再貯蔵します。



作業時期
上旬 中旬 下旬

作業内容

〈庭木類〉

整姿・剪定 フドウを除く各種果樹の剪定が適期です。徒長枝や強すぎる枝、弱い枝などを剪定して、樹全体に日光が当たるようにします。

ナナカマド、サクラ、カンバ類、コブシ、モクレンなどの整姿は、必要に応じて早めに行いましょう。

雪割り 融雪に伴う積雪の沈下で下枝が引き下げられて、枝や幹が折れたり裂けたりする被害が発生することもあります。木を傷つけないように注意しながら雪割り、除雪をしましょう。

〈草花〉

育苗・（種まき） ゴールデンビートパンやバーミキュライトなど、播種床の準備をして、マリーゴールド、ペチュニア、インパチェンス、コリウス、サルビア、キバナコスモスなど、花壇用などに株数を多く必要とする種類の種まきを始めましょう。発芽には20～25℃の高温を要するものが多いので温度にも注意しましょう。

芽出し タリア、カンナなど球根類の芽出し、分球を始めましょう。

緑の相談 (P24～25参照)



豊平公園緑のセンター



麻生緑の相談室

木の植え方・育て方

木の植え方

良い木の選定

根が良く発達し、細い根がたくさんついているもので、全体の形が整っていて、根の基部のしっかりしたものが良い木です。また、葉とその木らしいつやがあり、しおれていなく、幹はだは色つやが良く、素直なものを選びます。大きな木よりも、小さな木の方が活着が良いものです。

植える(移植)時期

木には、それぞれ植え付けに最も適した時期があります。それは、一般に春と秋ということになりますが、北海道での適期はやはり春です。

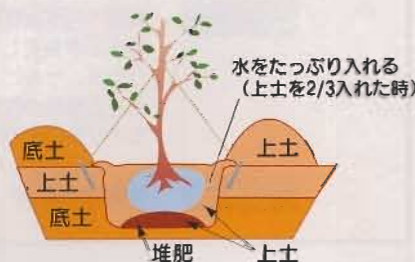
植え方

木は日陰に置き、根が乾いてしまわないように、むしろなどをかけておきます。できるだけ早く植えましょう。長い期間植え込まない場合は、適当な穴を掘り、木を伏せて、根を重ねたまま入れ、よく土が根のまわりに入り込むように土をかぶせ、仮植しておきます。

植え穴は最小でも根の直径の1.5倍～2倍は掘って、底に堆肥や肥えた土を入れ、その上に細かい良い土を入れ、深植えにならないように木を植え込みます。それから良土を2/3ほど入れ、水をタップリ流し込み、十分根のまわりに細土が密着するように木をゆすり、さらに土を入れ、根のまわりを固め安定させます。

根元は周辺よりもやや低くなるように土を盛り、根づくまで雨水ややり水がたまるようにします。支柱は木の地上から2/3の位置に結束すると一番良いでしょう。

植え込む前に傷ついた根などを良く切れるハサミで切りなおし、枝葉は根からの吸水とのバランスをとるため、適度(全量の1/3～1/5)に切り取ります。ただし、常緑樹は別です。



植える時の留意点

- できるだけ日当たりの良い所(特に日陰を好むものは除く)
- 風通しが良い所
- 水はけの良い所(水はけの悪い所は、少し高く植えるか、そこに適した木を選ぶ)
- 土が良く肥えている所
- 石や石炭ガラなどはきれいに取り除きます
- 深植えすると木が弱るので浅く植えます

根回し

長い間移植したことのない木を移植するときは、できたら1～3年前位に根回しをしておきます。根回しは移植適期に株のまわりを移す時の鉢より少し大きめに掘り、株下の直根や四方八方に広がる太い根の数本だけを残して、切るか環状剥皮をし、土を埋戻して、株元近くに細根を発生させるようにします。根回し後は必ず支柱をつけるようにします。



木の育て方

植えてから1年間は根の発育が不十分ですから、管理に気配りをして下さい。

灌水

乾燥が続く時は朝か夕方に十分に水をやります。根元にわら、刈り取った草、むしろなどを敷いておくと乾燥防止に役立ちます。

肥料のやり方

根の発育を待つて翌年の春から夏にかけては、腐せした油かすを水でうすめたものや、化学肥料をやり、秋には油かす・鶏糞などをやります。肥料をやる位置は、根元のまわりの細根の良く出ているあたりに穴を掘って埋め込みます。(ツツジ、シャクナゲなどのツツジ科植物には鶏糞を与えてはいけません)



冬囲い

灌木などの冬囲いは枝の丈夫なものは縄で巻くだけで十分ですが、折れそうなものはさらに竹などを3～5本円すい形に立てて、そのまわりを縄で縛ります。(P17参照)

剪定

木の姿を整えたり、木の内部の風通しを良くし、発育を良くするために主として冬に行いますが、北海道の場合、切口からの凍害を防ぐため、春早くの方が良いでしょう。台風の際には、枝すかしと支柱の補強を忘れないようにします。

病虫害

病虫害は早期発見、早期防除に努めましょう。ときには予防対策も必要です。

緑の相談

緑

緑

豊平公園緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

- 開館時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休館日
毎週月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）
12月29日から翌年の1月3日まで

緑の相談

- 相談日・時間
休館日を除く毎日
午前10時から午後4時まで
電話 (011)811-9370

緑の図書

午前8時45分から午後5時15分まで



百合が原緑のセンター

北区篠路町太平210番地外

- 開館時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休館日
毎週月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）
12月29日から翌年の1月3日まで

緑の相談

- 相談日・時間
毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
電話 (011)772-3511

緑の図書

午前8時45分から午後5時15分まで

〈温室観覧料〉

- 大人（高校生以上）……………130円
 - 小人（小・中学生）……………60円
 - 65歳以上・幼児……………無料
- ※敬老手帳などをご提示ください。



緑あふれる街づくりを……

花づくり庭づくりのお手伝いを……

四季を通じてアドバイスします

平岡樹芸センター

豊平区平岡4条3丁目45番地

- 開園期間
4月29日から11月3日まで
- 開園時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休園日
毎週月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）
11月4日から翌年の4月28日まで

緑の相談

- 相談日・時間
毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
※庭木など実物見本に即した相談が受けられます。

電話 (011)883-2891

緑の図書

午前8時45分から午後5時15分まで



麻生緑の相談室

北区北39条西5丁目（麻生総合センター内）

緑の相談

- 相談日・時間
毎週火、水、金、土曜日（祝日に重なる場合は、木曜日が代替相談日で）
午前10時から午後4時まで

電話 (011)757-1003

緑の図書

午前9時30分から午後5時15分まで



札幌市グリーンアータバンク

不要となった庭木、草花（球根、宿根草）を登録してください。欲しい方につけられます。

〈申込方式〉

- 提供者は所定の申込書に記入してお申し込みください。（郵送でも可）

- 受け取り希望者は、提供リストが緑のセンターに提示されますので、ご希望のうえお申し込みください。

受付期間：緑のセンター休館日以外

受付時間：午前9時～午後4時

〈申し込み・問い合わせ先〉

〒062 札幌市豊平区豊平5条13丁目 豊平公園緑のセンター
☎811-6568

※対象樹木、草花類の提供は無償です。

札幌市都市緑化基金

緑あふれる街づくりのため 都市緑化基金の募金にご協力 をお願いいたします。

都市の緑は、私たちの日常生活に四季おりおりの季節感や、心のゆとり、やすらぎとうるおいといったかけがえのない充足感を与えてくれるものです。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の方々の協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰につつまれた「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺などの民有地の緑化がぜひとも必要になってまいります。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様からご寄附いただいたお金を積み立て、その果実（利子）で民有地の緑化を進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れる緑豊かな魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに市民の皆様の暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

都市緑化基金はこのような事業を実施しています。

記念樹プレゼント

市民を対象に、結婚、出産、新築といった人生の節目を記念して、ライラック、ツツジ、ウメなど10種類ほどの中から希望の苗木をもちろんプレゼントしています。

応募は往復ハガキで。返信用ハガキが引き換えになります。

「広報さっぽろ」などでお知らせ。



ツタ苗の助成

目的／ツタで壁面などを緑化し、身近な緑を増やすため。

対象／市内の住宅、事業所など。

補助数／植え込み延長の30mまで、植え込み総本数の50%。

申し込み／春と秋の年2回。「広報さっぽろ」などでお知らせ。



ツタ緑化モデル施設の指定



植物祭／豊平区中の島1条9丁目



小笠原家／中央区豊の森3条11丁目



中野診療所／中央区北13条西16丁目

ツタによる緑化推進の模範となるような市内の家庭、事業所などをモデル指定。



株式会社清野建材店／中央区北3条東5丁目



ヴァンローゼ／中央区北3条西2丁目



札幌競馬場／中央区北20条西15丁目



六花亭製菓株式会社札幌内店／南区真駒内上町3丁目

フラワーポットの貸し出し

対象／市内の町内会、自治会、商店街など。

個数／1団体あたり30個以上100個まで。

規格／700mm×240mm×200mm。

期間／3年間。

申し込み／春、年1回。

「広報さっぽろ」などでお知らせ。

貸し出しの初年度のみ、培養土と花苗を1ポットあたり5株つけます。



その他の事業



各種緑化コンクール



園芸講習会



緑化パネルの展示



花と緑に関する手引書の発行



コンテナツリーの設置



花と緑のフォトコンテスト



花や緑に関する催し物への協賛等



フラワースタンドの設置

都市緑化基金の募金にご協力を!!

目標額

5億円

目標年度

平成19年度末



この小冊子も基金の果実の一部で作成しています。



● 基金に関するお問い合わせは ●

札幌市環境局緑化推進部自然保護課

〒060 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館

TEL 211-2532

(財)札幌市公園緑化協会

〒060 札幌市中央区南1条東2丁目 OFFICE 1.2ビル

TEL 211-2579